

【総務係】

1 就学援助費

2, 612万円

市内に居住し、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、市及び国の基準に基づき、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を援助する制度です。



2 遠距離通学補助制度

267万円

市内に居住し、遠距離通学をする生徒に対して、市の基準に基づき、通学に係る経費の一部を補助する制度です。



大隅中下校様子

3 各種大会派遣事業

100万円

市内中学校のスポーツ部及び文化部が全国・九州・県大会に出場する際、必要な経費の一部を補助する制度です。



4 高校振興費

1, 671万円

曾於高校へ通学している生徒、保護者に対して、総合的支援を行うことにより、保護者負担の軽減及び教育活動等の充実を目的とする制度です。

主な支援対策事業は、次のとおりです。

- ① 曾於市中学校スクールバス活用事業
- ② 制服等購入費補助事業
- ③ 遠距離通学費補助事業
- ④ 資格取得費補助事業
- ⑤ 大学等進学祝金贈呈事業



【学校管理係】

1 学校管理費

3億909万円

市内の小学校20校及び中学校3校の学校施設の維持管理等に伴う経費で、学校施設の修繕及び消防用設備や電気工作物の保安管理、高木伐採などを行います。



学校高木伐採風景

2 教育振興費

3,647万円

児童生徒が授業で使用するタブレットの導入や教材備品・図書購入などを行います。



タブレットを活用したプログラミング学習

3 学校整備費

8億6,886万円

児童生徒の生活安全を守り学力向上出来るように、普通教室等への空調設備設置、老朽化する屋内運動場の非構造部材耐震化改修などを行います。



【教育施設係】

1 学校管理／学校給食／社会教育

9億9,545万円(再掲)

市内の教育施設改修に伴う経費で、市内の小中学校及び給食センター等の学校施設、南之郷地区体育館等の社会教育施設の工事等を行います。



【学校給食係】

1 学校給食

1億6,664万円

市内23校の児童・生徒に、栄養バランスにすぐれた安心・安全な給食を提供し、学校給食を通じた食育推進を図ることを目的としています。

また、保護者への給食費の負担軽減や子育て支援の拡充を目的に「学校給食費負担軽減補助金」を交付しています。



中谷小学校での食に関する授業の様子

1 そおっ子の学力向上プラン

774万円



柳迫小の研究公開

子どもたちの学力を正確に把握し、実態に応じた効果的な指導法を研究するために、各種学力検査の実施や研究公開の補助を行っています。また、子どもたちの学習意欲を高めるために、英検・漢検などの各種検定料の補助を行います。

さらに、教師の資質・能力の向上を図るために、学力向上対策研究協議会研究員部会を中心とした先進地派遣研修や授業公開を行います。また、幼保小、中高連携などの研修会を開催し、校種間連携の充実を図ります。

2 学校教育ICT支援員派遣事業

305万円

曾於市内各小・中学校の全教室に配置している電子黒板等のICT機器の活用力を高めるために、ICTの専門家(支援員)を雇用しています。各学校における学習・技術支援、教材作成・提供、研究公開や校内研修の支援、また、市教育委員会主催のICT研修会の講師などの業務を行います。平成28年度に全学校へ導入が完了したタブレット端末の活用推進のための業務や、2020年度から小中学校で必修化される「プログラミング教育」の推進のための業務も行います。



「プログラミング教育」授業公開

3 学力向上支援員配置事業

2,131万円



学力向上支援員による指導

子どもたちに確かな学力を身に付けさせるために、小学校に学力向上支援員を配置します。

小規模・複式校においては、主に複式指導の充実や教育活動の支援を行います。また、大規模校では、TT指導や個別指導を中心に、一人一人の子どもの実態に即したきめ細かな指導を行い、学力向上を図ります。これからの子供たちに求められる思考力・表現力の育成を図っていきます。

4 特別支援教育支援員配置事業

3,561万円

通常学級に在籍し、特別な支援が必要な児童生徒に対して、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助や健康・安全の確保、学習活動上の支援、周囲の児童生徒の障がい理解促進等を行うために、特別支援教育支援員を配置します。

平成31年度は、17人の特別支援教育支援員を配置しています。



特別支援教育支援員による支援

5 ALT 語学指導事業**1,921万円**

ALTによる指導

小学校における外国語活動や中学校における英語科学習の充実を図り、国際理解教育の活性化を通して、国際親善や相互理解を深めさせ「国際性豊かな人材の育成」を実現するために、ALT（外国語指導助手）4名と日本人外国語指導助手1名を配置します。平成31年度は、新小学校学習指導要領への移行期の最終年度に当たるため、「教科化」を見据えた活用を更に推進し、コミュニケーション能力の素地を育成していきます。

6 心の教室相談員設置事業**145万円**

中学生が自分の悩みや心配事を気軽に相談できる第三者的な存在として、「心の教室相談員」を各中学校に配置します。さらに、子育てに悩んでいる保護者に対しても、相談活動などの支援を行います。

これらの相談活動を通して、不登校やいじめなどの早期発見、早期解決を目指すとともに、様々な問題行動等の未然防止や早期対応を図ります。

**7 スクールソーシャルワーカー活用事業****289万円**

近年、家庭や経済的な問題で、いじめや不登校など生徒指導上の課題を抱えていたり、安定した生活ができなかったりする子どもや家庭が増えつつあります。それらに対して、社会福祉的な観点から解決を図るために、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置します。

また、学校・福祉機関との連携等を推進し、教育相談体制の整備・充実を図ります。

**8 適応指導教室指導員設置事業****401万円**

心理的・情緒的な理由などから登校できない、又は不登校傾向がみられる児童生徒の学校復帰を目的に適応指導教室を設置します。

適応指導教室では、指導員を中心に、学校と連携して、基本的な生活習慣の改善や豊かな情操、社会性の育成等を行い、学校への早期復帰を図ります。

また、指導員は教育相談コーディネーターを兼務し、相談員の紹介や電話相談にも対応しています。

**9 学校健診事業****2,168万円**

市内小中学校の児童・生徒の健康増進を図り、健やかな育成を支えるため、歯科検診や耳鼻科検診等の各種健康診断を実施します。

また、小中学校職員に自己の体調管理や病気等の早期発見をしてもらうために、特定健診や胃がん検診、胸部レントゲン検診、ストレスチェック等を実施します。



社会教育課

【社会教育係】

1 家庭教育学級

121万円

家庭の教育力の向上を図るとともに、保護者間の子育てに関する意見交換や情報交換を行うため、家庭教育学級を市内の保育園・幼稚園・小・中学校で開催します。

【主な事業内容】

- ・家庭教育学級主事及び学級長等研修会の開催
- ・子育てに関する学習会の開催



家庭教育学級

2 高齢者学級

34万円

高齢者にまつわる様々なテーマ（健康・介護福祉・交通安全・防犯・研修視察等）を学習するとともに、親睦を深めながら仲間づくりと生きがいを高めることを目的に開催します。

【主な事業内容】

- ・健康、福祉・介護、防災・安全教育研修、料理講習会の開催、施設研修等の実施



高齢者学級

3 成人式

82万円

未来を担う若者たちの門出を祝うとともに、家族や周りの方々への感謝の気持ちや郷土を愛する心を養い、新社会人としての自覚を促すことを目的に開催します。

【主な事業内容】

- ・実行委員会企画による式典及び企画事業



成人式実行委員会

4 子ども議会

2万円

曾於市の未来を担う子どもたちが、議会を体験することによって、議会及び市政について興味・関心をもってもらうことを目的として開催します。

【主な事業内容】

- ・各小・中学校代表者が一般質問をします。



子ども議会

5 子どもフェスタ

16万円

教育委員会と青少年指導員会・子ども会育成連絡協議会が共催し、市内の小・中学校の代表が日常生活の中で感じたことや思っていることを発表する「少年の主張大会」、様々な活動を体験できる「わくわく体験コーナー」などを開催し健全な青少年の育成を図ります。

【主な事業内容】

- ・小・中学生による「少年の主張大会」
- ・各青少年事業参加者による体験発表
- ・13のブースによるわくわく体験



わくわく体験コーナー

6 放課後子ども教室

40万円

安心・安全な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等を実施します。

【主な事業内容】

- ・学習やスポーツ・文化活動の支援
- ・地域住民との交流活動



放課後子ども教室の様子

7 曾於市学校応援団

32万円

学校のニーズに応じ、地域ぐるみで教育活動を支援することを通して、地域住民の生きがいづくり、地域の活性化、さらには地域の教育力の向上をめざして地域全体で子どもを守り育てる環境をつくります。

【主な事業内容】

- ・ボランティアによる学習支援等
- ・コーディネーター研修会の開催



支援ボランティアによる学校応援

8 青少年リーダー研修事業

113万円

日常の家庭や学校生活、地域活動では得ることのできない体験をさせることにより、広い視野をもち、心身ともにたくましく思いやりのある青少年の育成を目的として実施します。

【主な事業内容】

- ・宿泊研修
- ・産業体験、文化体験、ボランティア活動



縄文杉観察

9 チャレンジ・ザ・日本一「富士登山」研修事業**129万円**

富士登山の体験や史跡・文化施設等の参観により、広い視野を持った、心身ともにたくましく常に夢実現にチャレンジする青少年の育成を目的として実施します。

【主な事業内容】

- ・富士登山の体験学習や史跡
- ・文化施設等の参観による学習



富士山頂上

10 青少年国際交流事業**379万円**

高校生を海外に派遣し、異言語・異文化・異習慣に触れながら識見を広め、国際社会に適応できる豊かな国際感覚を備えた青少年の育成を目的に実施します。

また、平成28年度より中学生を対象に2泊3日のイングリッシュキャンプを行い、オールイングリッシュの環境の中で、英語力の向上を図り、国際性や自己表現力の醸成を促すことを目的に実施し、海外派遣研修につなげていきます。

【主な事業内容】

- ・ホームステイ、イングリッシュキャンプ



海外派遣研修生

11 社会教育団体の育成及び運営補助**343万円**

社会教育各種団体（子ども会・青年団・PTA連絡協議会・女性団体・青少年育成市民会議）に補助金を交付し、活動を支援します。

【主な事業内容】

- ・子どもフェスタ、市P連の集い、市女性大会、青少年の健全育成事業等



市P連の集い

12 校区公民館活動補助**1,383万円**

校区公民館の活性化を図り、明るく住みよい地域づくりを推進することを目的に運営費と「曾於元気だそお」ふるさと事業補助金を交付します。

【主な事業内容】

- ・地域づくりのための各種事業



校区公民館グランドゴルフ大会

【生涯学習係】

1 生涯学習の推進

1,367万円

自らが学び、自己を高め、さらに学んだ成果を社会で活かす「生涯学習社会」を推進する経費です。市民の学習意欲に応えるため、関係機関と連携して専門的な講座や趣味的な講座を開設します。

(1) 曾於市総合大学

平成31年度は教養学部，農学部，ボランティア学部，健康学部，芸術学部の5学部110講座を開設します。

また，平成31年度も「食」をテーマにした特別講座を5講座開設します。

講 座 数 (単位：講座)			
地区名	平成29年度	平成30年度	平成31年度
大 隅	25	24	22
末 吉	60	65	67
財 部	20	20	21
計	105	109	110

受 講 者 数 (単位：人)				
年 度	平成29年度		平成30年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数
計	1,397	2,170	1,546	2,312

(2) 曾於市まちづくり行政情報出前講座

講座メニューの中から，市民の皆様のリクエストに応じて，市役所や行政機関等の担当職員が講師となって開設する講座です。

【主な講座内容】

- ・転倒予防講座
- ・消費生活講座
- ・認知症講座
- ・家庭・地域における防災講座
- など30講座

開設講座数・受講講座・受講延べ人数

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開設講座数	29	25	29
受講講座数	16	10	13
受講延べ人数	288	511	892

(3) 生涯学習のまちづくり推進事業

各校区地区公民館での生涯学習によるまちづくりを推進するため，生涯学習の観点に立った活性化事業を推進します。総合的な生涯学習推進大会やまちづくりを学ぶ講演会，健康や環境，芸術等に関する講座の開設など校区地区公民館が自ら特色を生かして実施しています。



2 文化施設の管理運営費

(1) 文化施設管理費 6,635万円

大隅文化会館、末吉総合センター及び財部きらめきセンターの維持管理等に要する経費です。

文化施設の利用状況 (単位：人)

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大隅文化会館	22,238	13,761	16,869
末吉総合センター	44,376	44,831	46,477
財部きらめきセンター	5,870	5,700	5,688
計	72,484	64,292	69,034



コロッケコンサート



サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス



第36回吉井淳二記念展

(2) 文化振興事業費 2,309万円

曾於市の文化を振興する事業に関する経費です。主なものは末吉総合センター及び大隅文化会館、財部きらめきセンターで実施する自主文化事業に関する経費や吉井淳二記念展の開催経費、曾於市文化協会の発展振興を支える経費です。

平成31年度は自主文化事業を6～8本実施する予定です。

また、吉井淳二記念展は37回目の開催を迎え、引き続き充実した記念展になるよう努めます。

平成30年度自主文化事業の実績

事業名	期日	会場	参加者数(人)
桂竹丸公民館公演	6月8日	財部中央公民館	103
コロッケコンサート	7月22日	大隅文化会館	1,820
サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス	8月10日	大隅文化会館	727
MALTA七人サムライジャズ	9月23日	末吉総合センター	476
西部航空音楽隊演奏会	10月21日	財部きらめきセンター	500
小田純平スペシャルライブ	10月27日	財部きらめきセンター	454
マスクプレイミュージカル	11月14日	末吉総合センター	554
お笑いライブ	11月18日	財部きらめきセンター	184
民俗芸能祭り	11月25日	末吉総合センター	350
ロビーコンサート	7月～3月	メセナ温泉 他4ヶ所	336
合計			5,504

3 市立図書館及び郷土館管理運営費

5,539万円

曾於市立図書館、大隅郷土館及び財部郷土館の管理運営を充実し、市民の読書活動や学習活動を推進しています。

(1) 移動図書館車巡回事業

2台の移動図書館車が、曾於市全域を対象に図書館が遠くても本の貸出や返却ができるサービスです。
(市内46ステーション)

(2) 読書感想文コンクール事業

読書推進の一環として、曾於市内小中学校の児童生徒による読書感想文のコンクールを実施します。

(3) 図書館祭り

図書館の利用促進を目的とした図書館独自のイベントです。

そのほか、乳児とお母さんを対象にした「おひざで読んで」を月1回図書館本館で実施しています。

(4) 図書館充実事業

図書購入は、年間に約6,000冊前後の図書を購入します。現在、蔵書数も本館・大隅分館・財部分館合わせて19万冊を超え、充実した図書館になっています。

(5) 図書館ボランティアの育成

曾於市立図書館(末吉)では「お話し教室ちゃいはな」「図書館ボランティアトトロ」、財部分館では「祝子おはなし会」、大隅では「つくしんぼ文庫」の図書館ボランティアグループが活動しています。

(6) ミニリサイクルコーナー

本の再利用、本の大切さ及び図書館の利用促進を目的として、図書館本館の玄関にコーナーを設置しています。

(7) はじめての絵本事業

絵本を楽しむ体験を通じ、子どもと保護者が一緒に心ふれあう時間を持つきっかけをつくります。

3歳到達時に絵本を贈呈します。



市立図書館



受付カウンター



さんぺい1号



リサイクルコーナー

【文化財係】

1 文化財の保護・活用

(1) 文化財保護審議会の開催 19万円

文化財の保存や指定, 活用の方策等について審議します。

(2) 文化財整備・看板設置事業 200万円

史跡の草払い等整備を行うとともに文化財をわかりやすく説明する看板を計画的に設置します。

(3) 民俗芸能団体等補助事業 254万円

県指定文化財・市指定文化財等の保存会に活動の助成を行います。

(4) 古文書電子化事業 38万円

市内の残る古文書を電子データ化し, その保存や活用を図ります。

(5) 文化財関連史料集作成 50万円

曾於市で保管している古文書等を活字化した史料集を作成し, 市民等への公開や活用を図ります。

(6) 国選択無形民俗文化財「岩川の弥五郎どん」 6万円

平成31年2月, 国選択(記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財)へ答申された「岩川の弥五郎どん」を, 今後は国指定へ向けて, 準備を進めていきます。

(7) 恒吉城跡保存整備事業 84万円

専門家の意見・指導を受けながら, 引き続き恒吉城跡の調査研究及び保存整備に努めていきます。



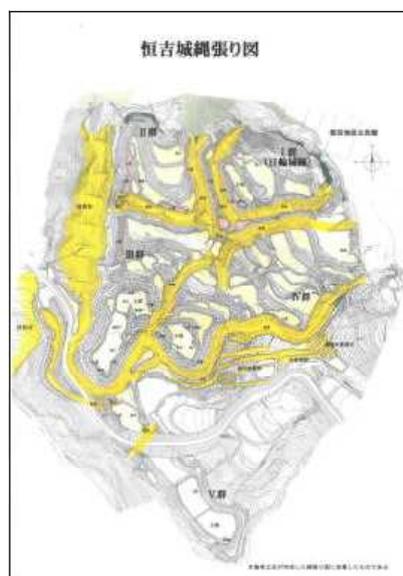
岩川の弥五郎どん



溝ノ口洞穴



恒吉城跡と恒吉麓



恒吉城縄張り図

2 埋蔵文化財の発掘調査と保護

(1) 埋蔵文化財センター管理費 159万円

遺跡調査を実施して、埋蔵文化財（遺物・遺跡）を紹介・展示し、郷土の歴史解明を行い、市民に郷土の歴史及び文化遺産に対する理解を深めます。

(2) 市内遺跡群緊急発掘調査 503万円

開発行為に伴う緊急を要する埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録し公表します。

(3) 市内遺跡群発掘調査整理作業及び報告書作成 44万円

市内遺跡群の発掘調査で出土した遺物の整理及び報告書を作成する費用です。

(4) 平松城跡発掘調査事業 271万円

貴重な史跡である平松城跡の発掘調査を実施し、城郭の構造把握及び保存整備に努めます。



平松城跡地形
測量図（H26～30測量調査）



中尾段遺跡発掘調査風景



恒吉御仮屋跡推定地発掘調査風景



恒吉御仮屋跡推定地出土遺物
（中・近世陶磁器類）



恒吉御仮屋跡推定地出土遺物
（15～16C顧氏青磁）

【生涯スポーツ係】

1 スポーツ活動の推進

(1) 社会体育行事の開催

263万円

①カヌー教室〔6～7月〕

講師を派遣して各小学校のプールで行ないます。

②県民体育大会曾於地区大会の後援〔7月〕

③北別府学旗野球大会〔5・7月〕

少年野球の底辺の拡大及び競技力向上を目的として行われています。

④カヌー大会〔7月〕

カヌー競争とドラゴンボート競争の部門を実施し、ドラゴンボートは県民体育大会の予選も兼ねています。

⑤悠久の森ランニング大会〔8月〕

悠久の森は夏でも涼しいため、快適にランニングを楽しめます。

⑥県民体育大会の後援〔9月〕

⑦北別府学野球フェスタ〔9月〕

末吉出身の北別府学さんをはじめ元プロ野球選手を講師に招き投手、野手別に小・中学生の指導を行います。

⑧そお市民体育祭in財部〔10月〕

市内の各団体によるレクリエーション的な体育祭です。だれでも参加できます。

⑨末吉豊祭武道大会〔11月〕

住吉神社を中心に空手・柔道・剣道・弓道などが行われます。

⑩健康づくり駅伝大会〔1月〕

小学生・中高生・一般の部に分かれており、毎年たくさんのチームが出場して健脚を競います。

⑪県下一周駅伝・女子駅伝大会の後援〔1・2月〕

⑫曾於市民グラウンド・ゴルフ大会

新地公園グラウンド・ゴルフ場を開設したことに伴い、市民の交流及び健康増進を図ることを目的として開催します。



ドラゴンボート競争



カヌー競争



悠久の森ランニング大会



北別府学野球フェスタ



健康づくり駅伝大会

(2) スポーツ推進委員会・スポーツ推進審議会の運営 **376万円**

スポーツ推進委員会・スポーツ推進審議会を開催し、社会体育行事の推進及び軽スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図ります。

(3) 体育団体の育成や各大会の助成 **855万円**

- ・体育協会運営補助
- ・スポーツ少年団運営補助
- ・県体曾於地区大会出場補助
- ・全国大会等出場補助
- ・豊祭武道大会運営補助
- ・霧島盆地剣道大会運営補助
- ・そお市民体育祭inたからべ運営補助
- ・スポーツ少年団交歓大会出場補助
- ・悠久の森ランニング大会運営補助

2 スポーツ活動の環境整備の推進

(1) 学校施設開放事業 **102万円**

市内の小学校20校、中学校3校計23校の学校体育施設を開放し、市内の各地域スポーツの振興を図ります。



(2) 末吉地区体育施設管理費 **7,713万円**

末吉総合体育館、栄楽公園、弓道場などの維持管理のための費用です。ニュースポーツ用具も各種貸し出しをしています。



(3) 市民プール施設管理費 **2,683万円**

温水プールの維持管理のための費用です。水泳教室・ウォーキング等、誰でも気軽に利用出来る施設です。

曾於市民体育祭inたからべ

(4) 財部地区体育施設管理費 **1,583万円**

野球場・陸上競技場・体育館・城山公園の夜間照明施設・農業者トレーニングセンターの維持管理のための費用です。



(5) 大隅地区体育設管理費 **1,771万円**

体育館・武道館・陸上競技場・野球場・テニスコート・研修館等の維持管理のための費用です。

(6) 新地公園グラウンド・ゴルフ場管理費 **826万円**

グラウンド・ゴルフ場の維持管理のための費用です。3コースあり、うち1コースは日本グラウンド・ゴルフ協会の公認コースです。用具や簡易テント・長机・椅子などを無料で貸出しています。



曾於市民グラウンド・ゴルフ大会

曾於市民歌

作詞 橋本絹代
作曲 鎌田範政

力強く ♩ = 120位

1. た か ち ほ み ね の め ぐ 一 み う 一 け き こ
2. ヤ ゴ ロ ウ ド ン ノ ア ユ 一 ム マ 一 チ シ ン
3. ひ と の ぬ く も り や さ 一 し マ 一 に あ

5
え る い の ち め ぶ 一 お と お お
リ ヲ ク フ カ ク ソ ラ ア オ ク チ ク い
た な れ き し き ら む 一 ま 一 ち

9
す み の ち 一 の ふ る 一 さ と 二 つ な
サ ノ か ミ 一 チ 一 いた 一 す 一 し ン に 二 ミ ラ
も わ か き 一 も 一 た 一 す 一 け あ い 二 い

13
い だ て か 一 ら つ く ら れ る か
イ タ ク シ 一 テ も す ス コ ミ ヤ ャ カ に ハ
す え ま で 一 も す す こ や か に の

17
が や く わ れ ら あ 一 あ そ お し
グ ヲ ム ク わ れ ら あ 一 あ そ お し
び ゆ く わ れ ら あ 一 あ そ お し

三
人のぬくもり 優しさに
新たな歴史 刻むまち
老いも若きも 助け合い
いく末までも 健やかに
伸びゆくわれら ああ曾於市

二
弥五郎どんの 歩むまち
新緑深く 空青く
畜産の道 いっしんに
未来たくして すすみゆく
育むわれら ああ曾於市

一
高千穂峰の 恵みうけ
聞こえる命 芽吹く音
大隅の地の ふるさとに
つないだ手から つくられる
輝くわれら ああ曾於市

曾於市民歌

作詞 橋本絹代
作曲 鎌田範政

平成31年3月発行

企画・編集 鹿児島県 曾於市役所 財政課 財政係

〒899-8692

鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 番地

TEL 0986-76-8803 (直通)

0986-76-1111 (代表)

FAX 0986-76-8821

e-mail zaisei@city.soo.lg.jp

URL <http://www.city.soo.kagoshima.jp>

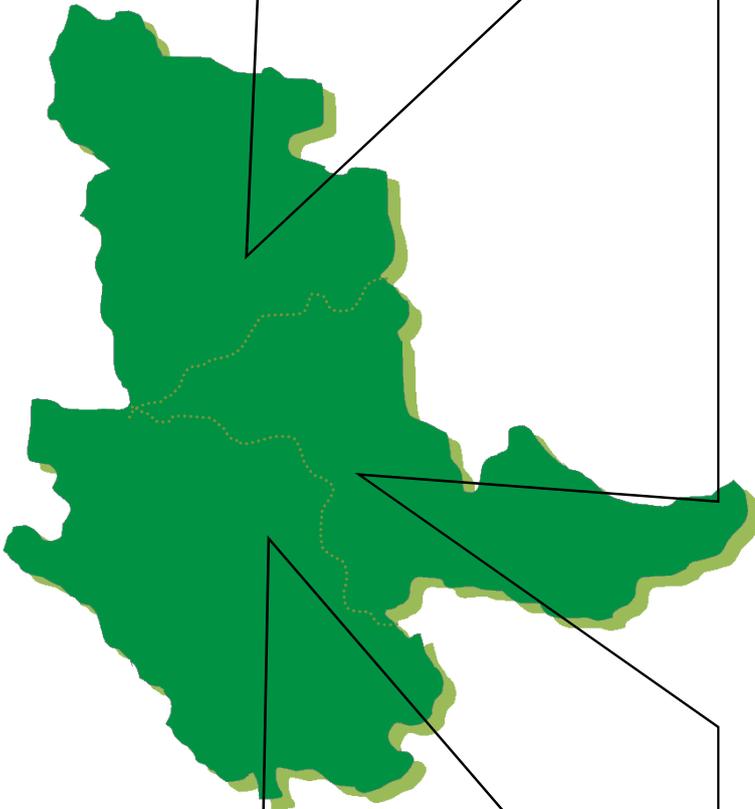
財部地区



消防設備整備事業 財部分署



市道整備事業 馬立・通山線



末吉地区



和牛日本一「鹿児島黒牛」PR事業



市道整備事業 石切谷・久保線

大隅地区



市道整備事業 笠木・かんじん松線



消防車購入事業
大隅方面隊麓分団タンク車